

甲佐町議会だより

第138号



清流

平成23年8月1日
発行 甲佐町議会
発行責任者 議長 本田 新

6月定例会



災害時に備えての緑川水防訓練

(5月15日 安津橋上流)

人事案件・平成23年度一般会計補正予算・請願 · · · ②

論点 Q & A そこが知りたい · · · · · ③

一般質問4人 ここが聞きたい · · · · ④~⑦

傍聴席から一言・全員協議会 · · · · · · · · ⑧

6月定例会

6月定例会は、10日に開会、13日までの実質2日間の審議を行った。

案件は、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問案件2件、監査委員の選任に関する同意案件1件、固定資産評価員（税務課長）の選任に関する案件1件、専決処分の報告及び承認案件5件、報告案件2件、同文議決案件1件、平成23年度一般会計補正予算案件1件、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。

また、請願1件を採択し、意見書の提出についても可決した。

なお、一般質問には4人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

については、現委員の柴田壽美子氏及び本田昭則氏の後任に、宮内地区上

揚の後藤ハルミ氏、白旗地区糸田の芦原博幸氏の推薦があり、両氏を適任とすることに全会一致で決定した。

甲佐町監査委員の選任同意

専決処分の報告及び承認について

平成23年度一般会計補正予算



後藤 ハルミ 氏



芦原 博幸 氏



本田 進 氏

任期満了に伴う、町監査委員の選任については、渡辺健一郎氏の後任に、白旗地区糸田の本田進氏が選任された。

本田氏は、鹿児島大学を卒業後、日本電熱（株）に入社、その後、熊本県酪連を経て、九州牛乳販売農業協同組合連合会で勤務されており、豊富な経験と見識があり、適任とのことで全会一致で同意した。

いずれも、承認することに決定した。

①平成22年度甲佐町一般会計補正予算

1000円とする補正予

算を全会一致で可決した。

②平成22年度甲佐町老人保健特別会計補正予算

の総額を58億6721万

円を増額し、歳入歳出予算

を全会一致で可決した。

③甲佐町国民健康保険条例の一部改正
④甲佐町国民健康保険税
⑤甲佐町税条例の一部改正

主な内容として、
①東日本大震災への人的支援費
②戸籍電算システム賃借料

278万5000円
78万7000円
1650万円
412万6000円
金

郵政民営化法の見直しに関する請願

中村幸男議員が紹介議員となり、芳野靖利氏、稻葉哲也氏、本田ユミ子氏、藤田浩司氏、岩本正明氏から提出されたこの

請願は、全会一致で採択され、議員発議による衆参両院議長及び関係各大臣宛ての意見書についても原案のとおり可決した。

【要旨】

郵便、貯金、保険のサービスが将来とも郵便局において確実に提供され、いかに山間僻地であろうが、国民の利便に支障が生じないよう法的な見直しを含め、郵政三事業が一体のサービスとして運営されるよう「郵政改革法案」の早期成立を国会に対し図るための意見書提出を請願する。



本年、9月30日をもつて任期満了となる人権擁護委員の推薦に関する諮問案件2件、監査委員の選任に関する同意案件1件、固定資産評価員（税務課長）の選任に関する案件1件、専決処分の報告及び承認案件5件、報告案件2件、同文議決案件1件、平成23年度一般会計補正予算案件1件、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。

そこが知りたい!

SOKOGA SHIRITAI

Q&A



改築が始まった甲佐中学校

A 工事について
甲佐町にも専門的な解体業者がいるが、地元業者育成という観点からみてどう考えられているか。

A 出産育児一時金の額はすでに以前改正されていたと思うが。

A 9月開催されたいた運動会が近年6月開催に変更され、今年も天候を気にしながら終わったが、6月は梅雨に入る時期でもあるし、どういう事情でこうなったのか。

A 練習のあとに保健室に通つてくる状況であり、子どもの健康上から全国的に春の開催となつている。梅雨の時期あたりは検討し、日程等も考えていかなければならない。



Q 甲佐中学校の建て替え工事について
23年度から甲佐中学校の建て替え工事が始まるが、校舎建築、解体工事の入札方法はどのようになるのか。

Q 甲佐町にも専門的な解体業者がいるが、地元業者育成という観点からみてどう考えられているか。

Q 出産育児一時金の額はすでに以前改正されていたと思うが。

Q 小学校の運動会開催時期について
9月開催されたいた運動会が近年6月開催に変更され、今年も天候を気にしながら終わったが、6月は梅雨に入る時期でもあるし、どういう事情でこうなったのか。

A 運動会当日だけではなく、練習時期において暑さが非常に厳しくなつてゐる。

6月定例会質疑より

A 改築工事の入札方法は、総合評価方式の条件付き一般競争入札で行う。

では、体育館はすでに地元の会社が落札されている。

円が加算され42万円となつていたのが、今回の改正で恒久的になつた。

整備計画書の策定のねらいは何か。



運動会の実施時期は

校舎については、本体工事が2年間にまたがるため、分離発注になると2社が混在し、施工管理、安全管理上からみて問題があり、一般競争入札に含めて専門業者に発注したい。

今後の町の方針としては、町営住宅の改築工事、新築工事については、地元業者に十分配慮したい。



農業のやり方、土地利用のしかた等も変化しており、それに対応するため計画書を策定する。

一般質問と答弁

～ここが聞きたい！～



荒田 博議員

荒田議員 いる。

一圓環境衛生課長
ごみ処理場は平成2年
に建設されており、建設

後21年経過している。
建物の耐用年数は50



年、設備の耐用年数は20
年程度となっている。
設備、装置の老朽化が

クリーンセンター (ごみ処理場・火葬場)について

荒田議員

ごみ処理場と火葬場に
ついて以前から議論され
ているが、建物の改修、
若しくは新設についてど
ういう方向性で進んでい
るかお尋ねしたい。



クリーンセンター（ごみ処理場）

御船町との協議をまず
行いながら、広域化等を
含め本格的な議論をして
いく必要があると思つて

これまで中・長期計画
を策定しながら、併せ
て、広域化の取り組みも
検討してきた。

近隣の益城、嘉島、西
原の組合の施設も建設後
20年を経過している状況
で、広域連合の中でも議
論されている。

西坂建設課長

町道作替内田線改良工
事については、昨年度か
ら平成26年度までの5か
年計画で事業を実施する

総務全般について

荒田議員 役場職員がもし不祥事

荒田議員 いる。

この問題については、
今後も議論を交わしてい
きたいと考えている。

ことにしており、本年度
の事業においては、約2
億1000万円の事業費
で、一部工事及び用地購
入等を行いたいと考え、
現在、用地買収を行って
いる。

道路問題について

荒田議員

下豊内から守口屋まで
に流れる排水が、ごみ等
が詰まつて、水の流れが
悪い点についてお聞きし
たい。

本田産業振興課長

この排水路は甲佐町土
地改良区の財産である
が、農地の幹線排水路で
あるため、通常の維持管
理は下豊内地区が行つて
いる。

下豊内地区と土地改良
区との現地での立会いを
行い、浚渫等の対応につ
いて協議したい。

荒田議員

町道作替内田線の着工
見通しについてお尋ねし
たい。

荒田議員

町道大原小原線の改修
工事についてお聞きした
い。

西坂建設課長

この路線については、道
路整備計画を策定すると
きに、一応評価を行つてい
るが、評点的に下回り、今
回の整備計画に登載して
いない。

荒田議員

いろいろ内容によつて
当然変わつてくる問題で
はあるが、総務課長及び
各課長含めて、職員の指
導、徹底をよろしくお願
いしたい。



町道作替内田線

井芹しま子議員



の施策は。

奥名町長

景気の先行き不透明から、企業の求人は非常に弱い。

本町の進出企業への調査では30歳以下の新規雇用者数は過去5年間で47名若者の就職は非常に厳しい。

地域経済の活性化と雇用を守る為に

若者の雇用促進の施策は

今後、進出企業と雇用情勢に関する情報を共有して、甲佐広報を通じ情報発信をしながら若者の就職支援をしていきたい。

住宅リフォーム助成制度の創設を

井芹議員

完全失業率は2010年11月で5・1%と依然として高止まりが続いている。

とりわけ15～24歳の若者の雇用状況は厳しく、十代の失業率は10%に迫る深刻な状況である。

地域社会にあって雇用を守るということは地域経済を温め発展させることがつながる。

甲佐町においては若者の雇用状況をどのように認識しているのか。

また、雇用促進のため道府県330の自治体に広がっているが、わが町でも、今こそ地域経済の活性化のために、基金を

活かしてリフォーム助成制度の創設を図るべきではないか。

奥名町長

本町においての住宅政策に関しては、開発支援、定住促進事業を継続的に行つており、新しい

助成制度には恒久的な財源も必要であり、基本的には今の制度を活用しながらやつていきたい。

調査は何をするかではなく、何ができるかといふことで行つたが、報告では甲佐町においてはエネルギー導入について太陽光発電が一番適していると出た。

新エネルギー導入において、導入に一番適しているとした太陽光発電について、その普及には高い価格がネックになつてている。

現在、国や県の補助もあるが、普及促進や地域経済振興のためにも町独自の上乗せ補助をすべきでは。

井上企画推進課長



リフォーム中の家屋

求められている。

H18年度においての新エネルギー導入策定

にあたつて調査が行われているが、その調査結果と今後の運用について聞く。

井上企画推進課長

本町においては、開発支援、定住促進事業を継続的に行つており、新しい

助成制度には恒久的な財源も必要であり、基本的には今の制度を活用しながらやつていきたい。

調査は何をするかではなく、何ができるかといふことで行つたが、報告では甲佐町においてはエネルギー導入について太陽光発電が一番適していると出た。

新エネルギー導入において、導入に一番適しているとした太陽光発電について、その普及には高い価格がネックになつてている。

現在、国や県の補助もあるが、普及促進や地域経済振興のためにも町独自の上乗せ補助をすべきでは。

赤星教育長

子供たちの豊かな感性や人間性を育むことはみんなの願いだ。子供の時期から素晴らしい舞台芸術や音楽な

ど、生の文化に触れる機会を増やすべきではないか。

赤星教育長

教育の現場での授業時数の問題、また優れた文化芸術鑑賞には莫大な予算も必要であるが、子ども

の成長のためには是非必要なことだと考える。

今後さらに研究を進めたい。

井芹議員

緑川保育園裏の雑種地売却については固定資産評価額より3割の割戻が行われている。

ほかの売却についても適用されたのか。

甲斐総務課長

緑川保育園裏の山林については、0・7で割り戻しても何百万という数字は出ないということです実際の売買価格に近い価格で売却した。

一部の町有財産売却について、基準額や売買価格が明らかにされない

が。

井芹議員

一部の町有財産売却について、基準額や売買価格が明らかにされない

が。

甲斐総務課長

一般の情報公開条例に基づく開示はできないが、議会においてはお示しすべきと考える。

町の財産売却についての基準を聞く。

甲斐総務課長

町の固定資産評価額を算定基準として算出して

いる。

町の財産売却についての基準を聞く。

井芹議員

町の固定資産評価額を算定基準として算出して

いる。

町

傍聴席から一言

「議会での活発な議論を期待」

上早川3区 白石 崇

私は、ここ数年、議会の傍聴に行っていますが、今回「傍聴席から一言」ということで依頼がありましたので、私の感じたことを率直に述べたいと思います。

まず、議会という場所は、議論を戦わす所だと思っています。

現状をみてみると、議員の質問に対する各課長や町長の答弁があり、それに対し議論のやりとりが無いのが多く、答弁に対する本當に議員の方々は納得されたのでしょうか。

もつと、突っ込んだ議論をしてもらいたいと感じています。

また、最近は、教育問題や福祉に対する中期的な政策の議論も少ないよう思います。各議員の方も、質問時間は1時間はあるので、もつと中身の濃い政策議論を戦わせてもらいたいと思います。

「議員も議員になるのが目的ではなく、その立場にならないと出来ないことも多くあるので、その為の手段として志をもつてなられたのではないでしょうか。」議員の方々の活躍を期待しています。

最後に、甲佐町も町長の強いリーダーシップと職員の皆さんの日々の努力により、町長のマニフェストも各項目において高い達成率を示しています。

さらに、今まで以上の努力を重ねて、町の行政に取り組んでもらいたいと思います。今後、議会での活発な議論を期待しています。

全員協議会

5月30日開催

はない工場跡地のため、「自主調査」として土壤汚染の状況を確認するため実施。

○平成22年度分保育料の過誤徴収発生状況について

内容の説明に先立ち、奥名町長より関係者の方々に対し、お詫びと今後の対応についての報告があつた。

●対象者数及び変更額

増額	50人(40世帯)	減額	47人(35世帯)	5,657,000円	4,884,000円
----	-----------	----	-----------	------------	------------

●今後の対応方針

減額対象者の方については、5月27日までに全額の還付が終了。

増額対象者の方については、内容の説明を十分に行い、払い込みなどについてのご要望をお聞きしたうえで納付をお願いしていく。毎年6月に所得税が確定する時点で正しい税情報の取り込みと児童数に基づく再算定を行い、さらに、誤りがないよう他の職員による二重の確認体制をとつていく。

○町営住宅の建て替えについて

●建て替え用地の土壤調査について

・調査対象地

甲佐町大字横田地内

面積 8167m²

・調査目的

建設予定地が有害物質使用特定施設で

●町道作替内田線道路改良工事に伴う町営住宅

移転用地について

・予定地 甲佐町大字下横田字一町田

一五〇七一三、一五一、一

現「アイティソーキング」

工場用地

・面積	1374.14m ²	・予定価格	m ² 当たり 12,000円
・仕様	木造二階建て	・戸数	12戸

編集後記



朝のドラマ「おひさま」でも戦前、戦中、そして今は、戦後の厳しい生活の様子が描かれていますが、先の見えない時代にこそ「忍耐」が最も必要なアイテムなのかもしれません。

梅雨も過ぎ、大変暑い日々が続いています。

本年、6月1日の文化協会総会での中嶋会長のあいさつの中で、「今日の日本経済の低迷や東日本大震災からの復興等、現在の状況は、厳しく暗いものになつてゐる。こんなときだからこそ、心の豊かさや形のないものに価値観を求める」という話をお聞きし、心に深く感じ入つてゐます。

議会広報編集特別委員会
委員長 本郷 昭宣
副委員長 井芹 しま子
委員 西坂 和洋
委員 福田 謙二
委員 荒田 博